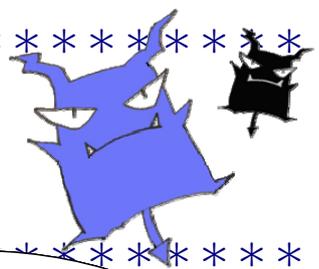


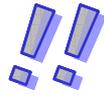
平成22年5月

京都市こどもの感染症



おたふくかぜ

じかせんえん
【流行性耳下腺炎】



どんな病気？

耳の付け根からあごにかけての部位が、おたふくの顔のようにはれてしまう病気です。

耳の下がはれるほか、発熱・痛みもあり、頭痛や吐き気などをもともなうこともあります。

特に、4～5歳で多く見られます。

合併症

注意が必要な合併症には、ずい膜炎や難聴があります。

ずい膜炎では「ひどく頭を痛がったり吐いたりする」、難聴では「呼び掛けても振り向かない」など、気になる症状があるときは、早めに受診しましょう。

予防は？



くしゃみやせきなどから感染します。手洗い・うがいをしっかりしましょう。

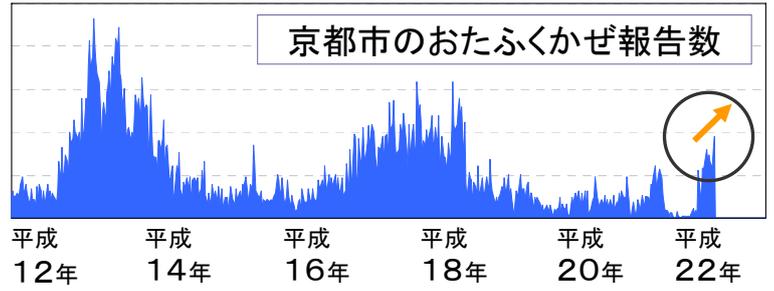
予防接種を任意で受けることができます。集団生活をする場合は接種をお勧めします。

感染を広げないために

感染を広げないために、耳の下のはれが完全になくなってから、登校（園）しましょう。

今年は流行の年？！

過去10年間の推移を見ると、数年おきに報告数が多くなっています。



今年は、2月ごろから、例年に比べて報告数が多い状態が続いています。今後、流行する心配がありますので、注意してください。

